

ナルニア国物語

魔術師のおい

7

C・S・ルイス

土屋京子・訳

玉樹庵・画

(光文社古典新訳文庫刊)

第7話 ベルとハンマー(前編)

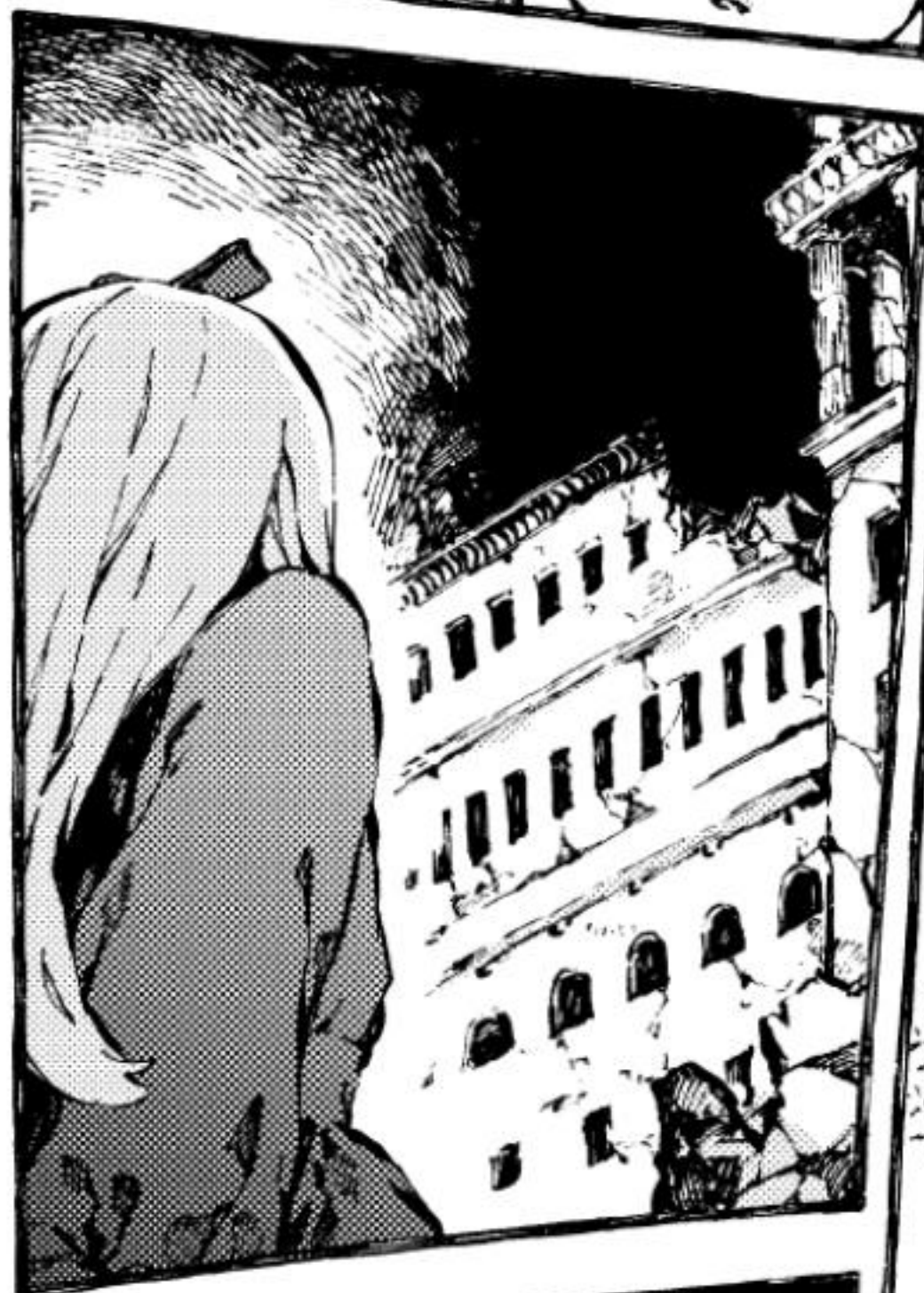












いやな感じ



リッパ!



ずいぶん
変わった場所だな!



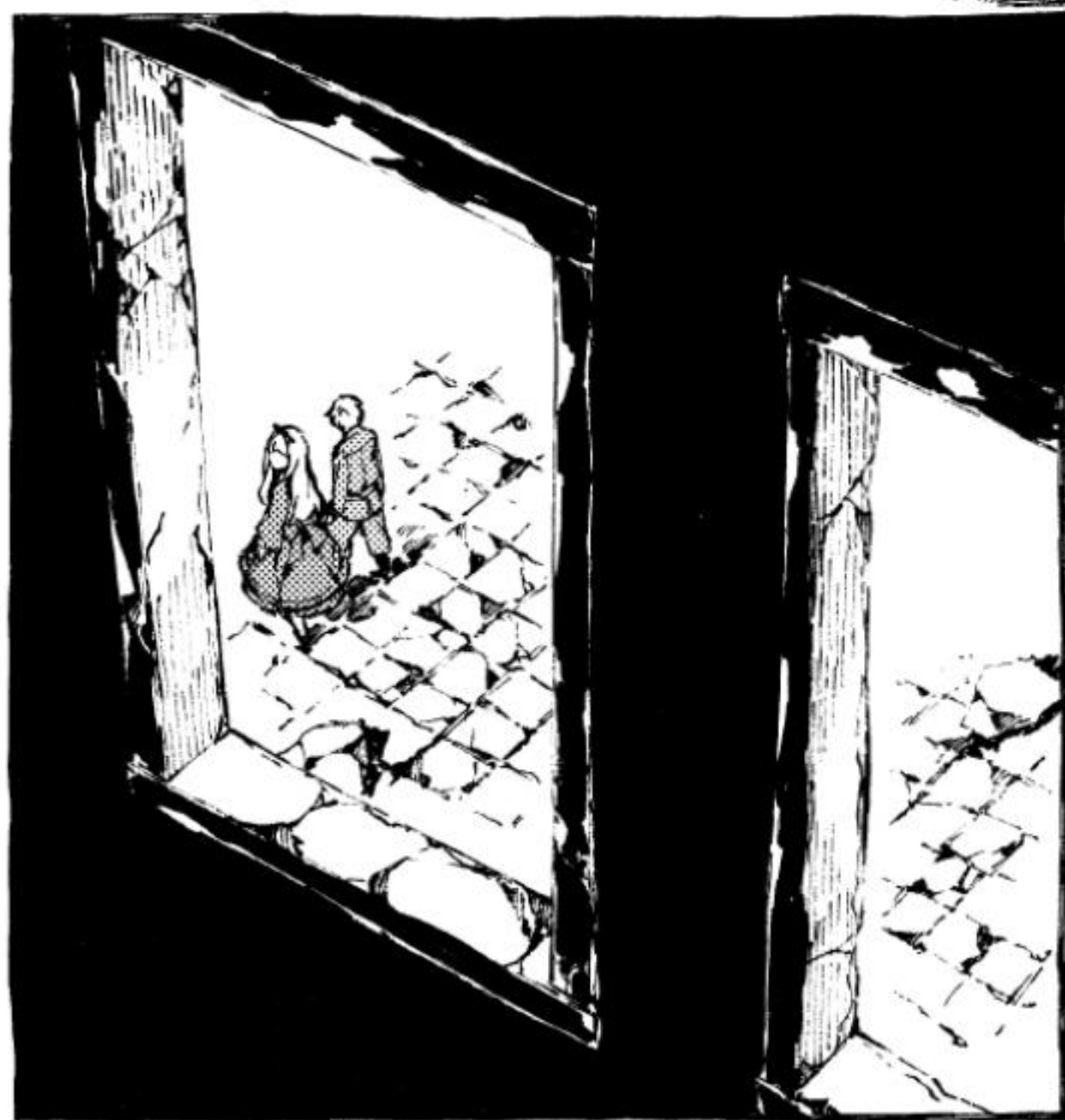
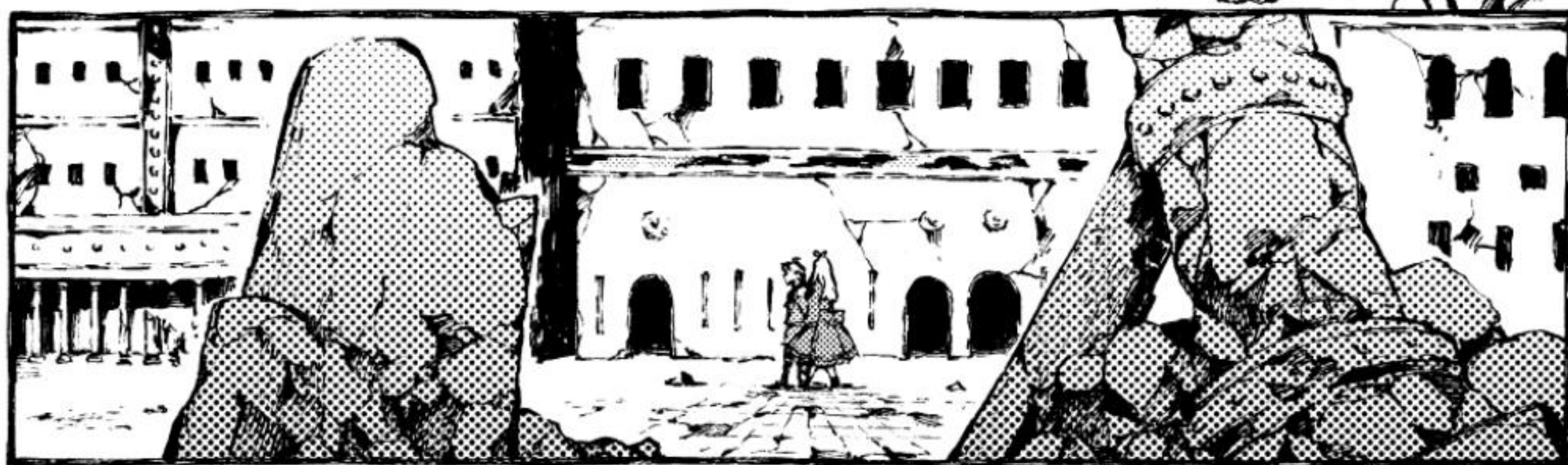
へんな
天気だな

これから
嵐にでも
なるのかな

それとも
日食かな？

いやな
感じ……







誰か
住んでると
思う？





ううん

ぜんぶ
廃墟だもの

ここへ来てから
ひとつも物音を
聞いてないし



ううん



物音を
聞いてみよう

…ちよつと
足を止めて





まだ何も
見てないじゃ
ないか

でも



せっかく
来たんだから

あちこち見て
帰らないと



ここには
おもしろいもの
なんか何もないと
思うわ



…帰ろうよ



せっかく
魔法の指輪を
手に入れて
別の世界へ
来たって



怖がつて
何も見たくないって
いうんじゃないよ
意味ないよ



誰が怖いなんて
言いました？

だって

いろいろ
探検して
みようって気が
あまりなさそう
だから



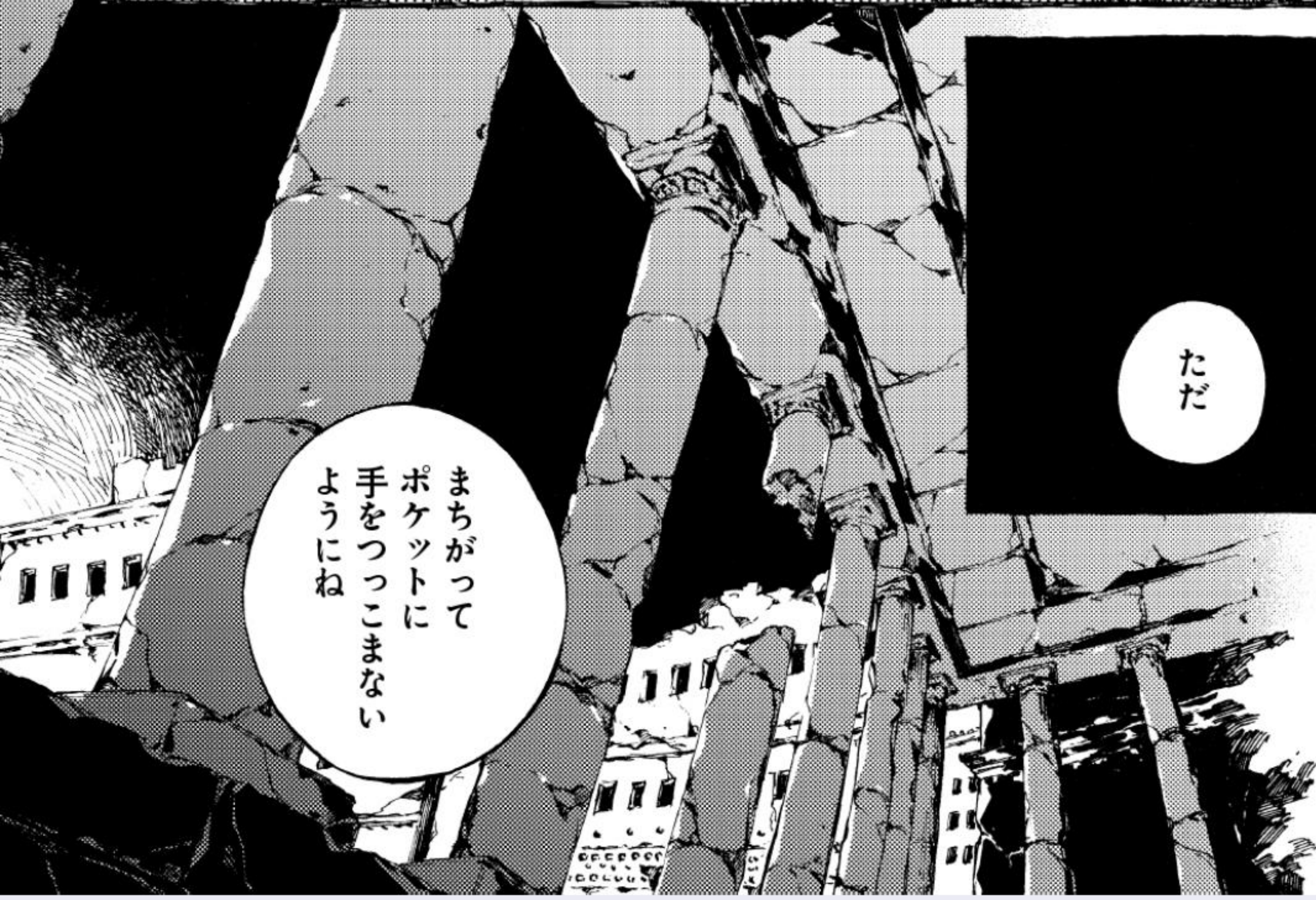
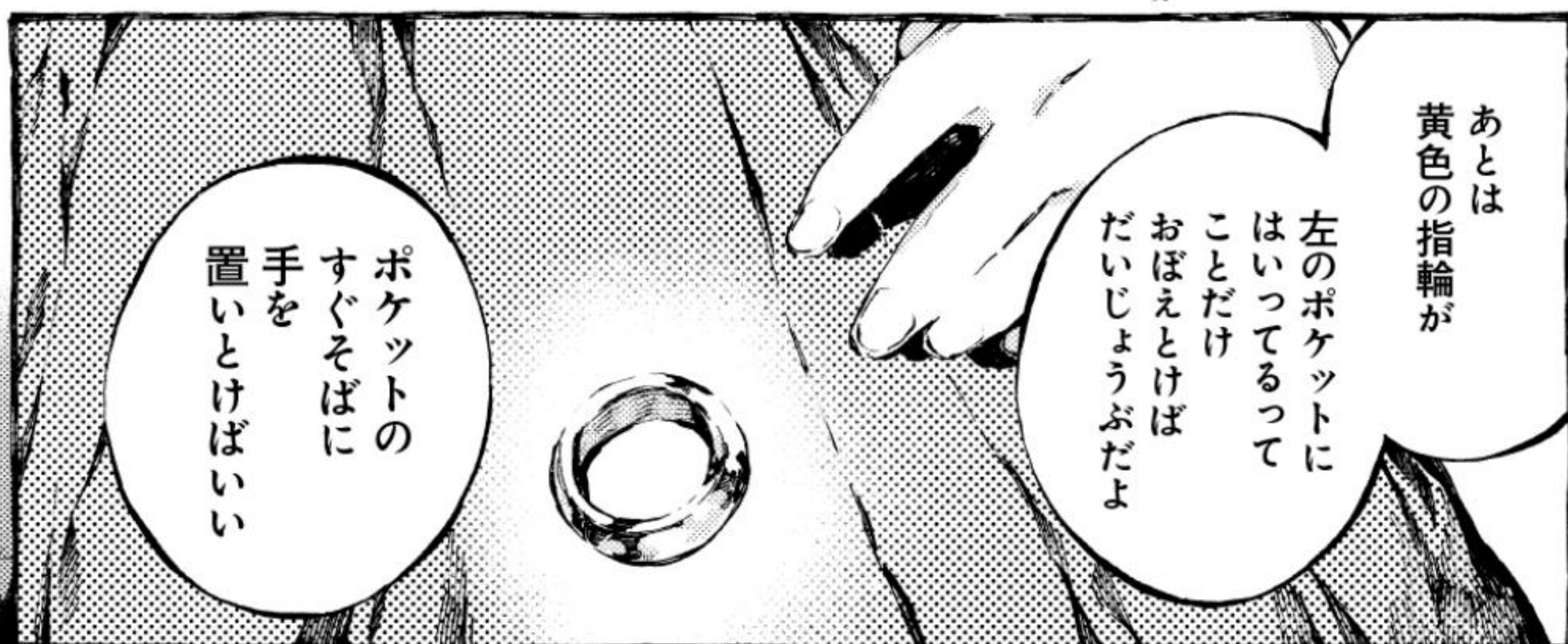
あんたが
行くところ
ぐらい

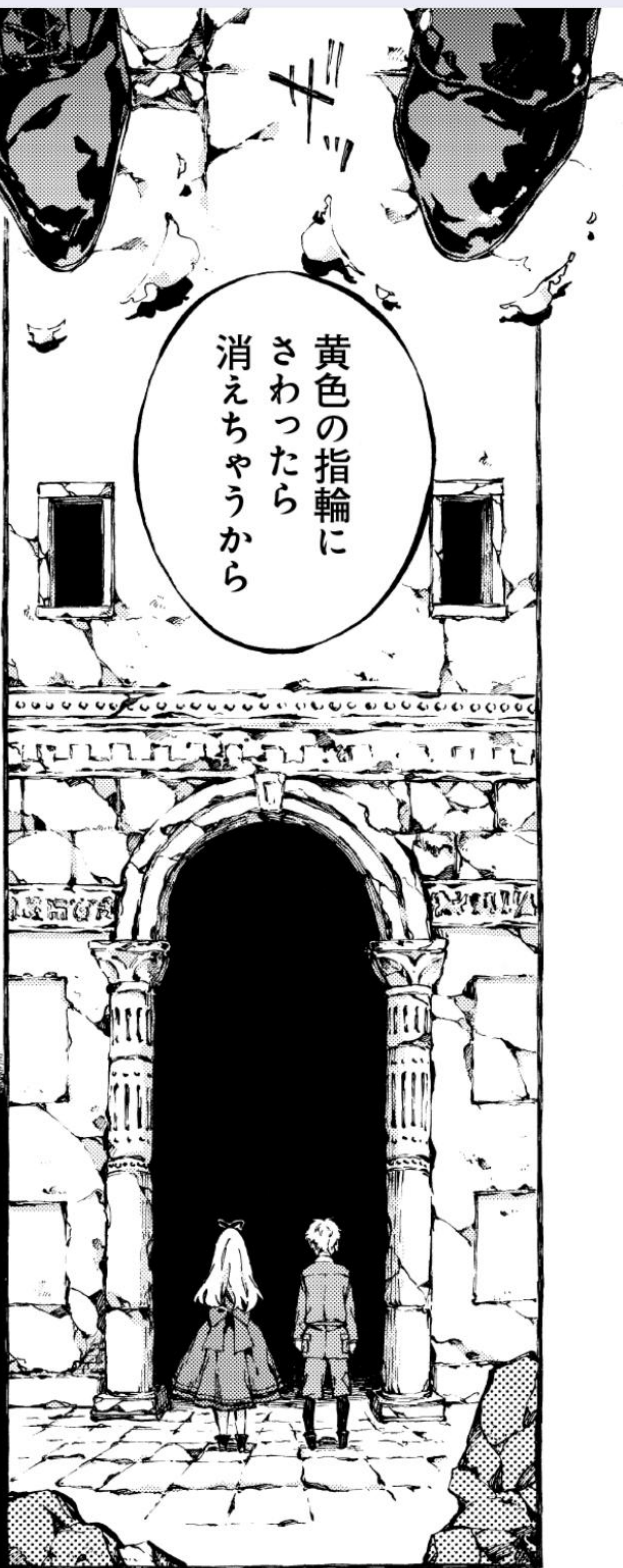
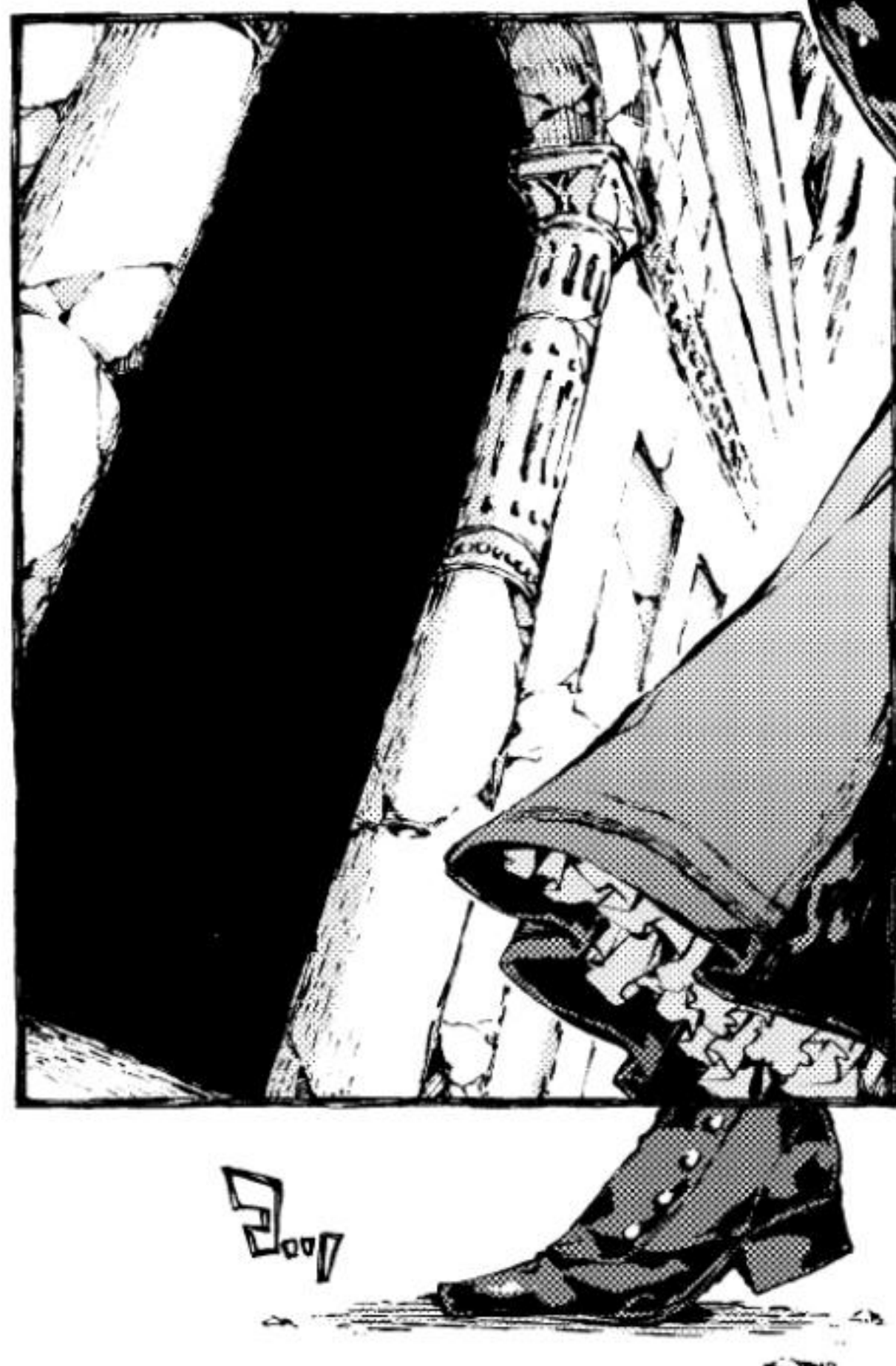
どこだって
行つて
やるわよ

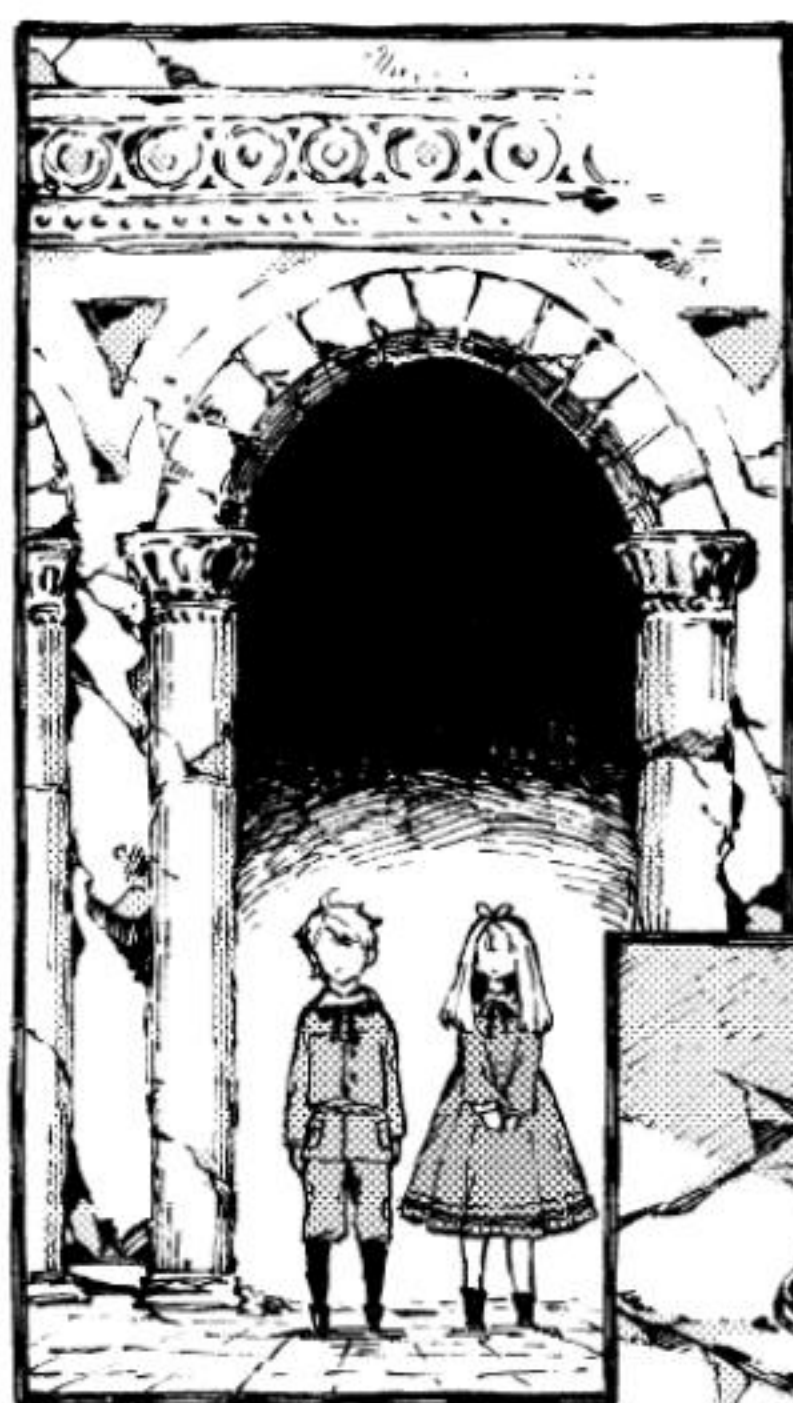
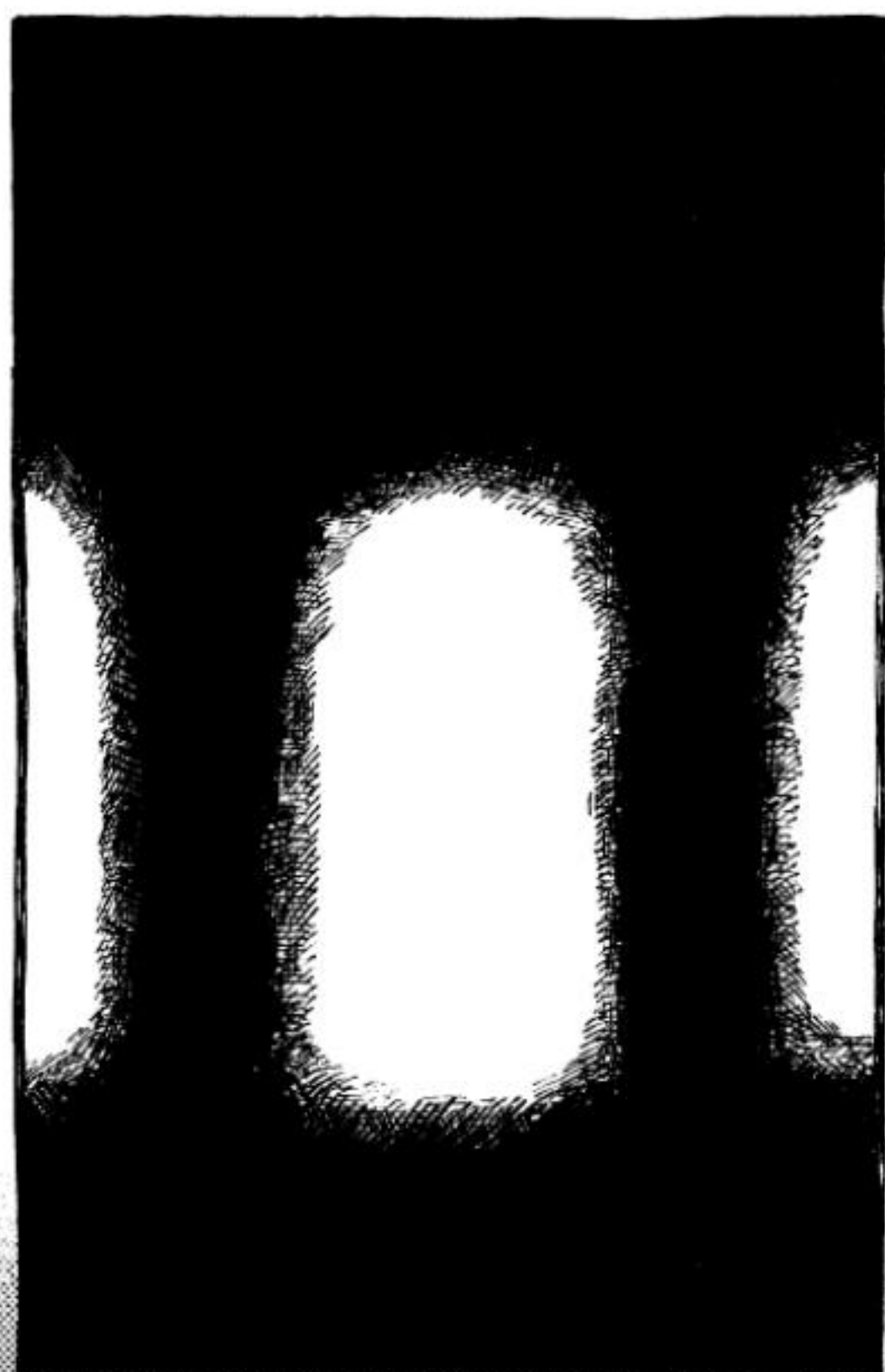


逃げたいと
思ったら

いつだって
逃げられるから









ほら

音がきっかけて
崩れることって
あるだろう？

アルプスの
なだれみたいに

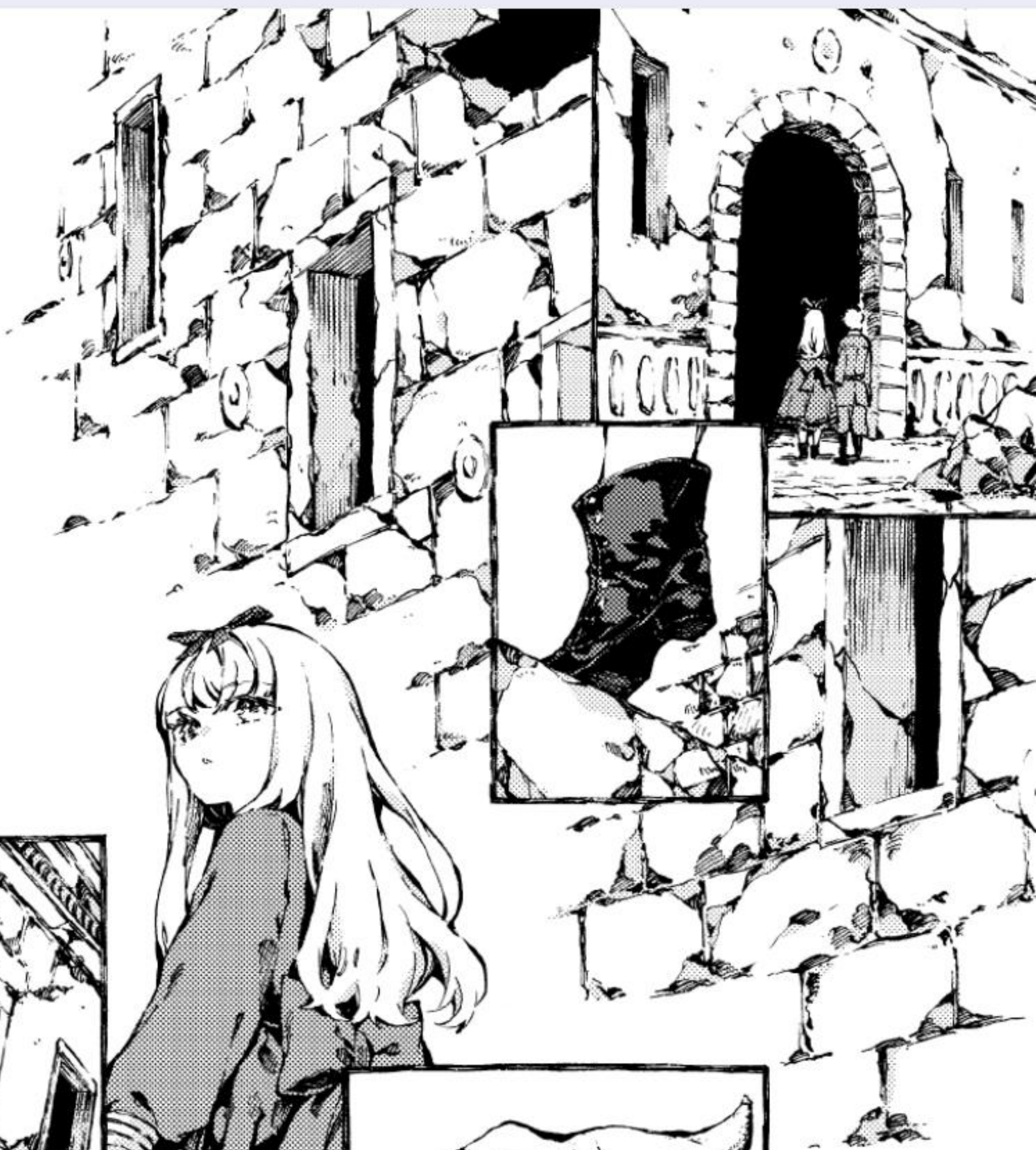
…だけど
物音を
たてないように
しないと

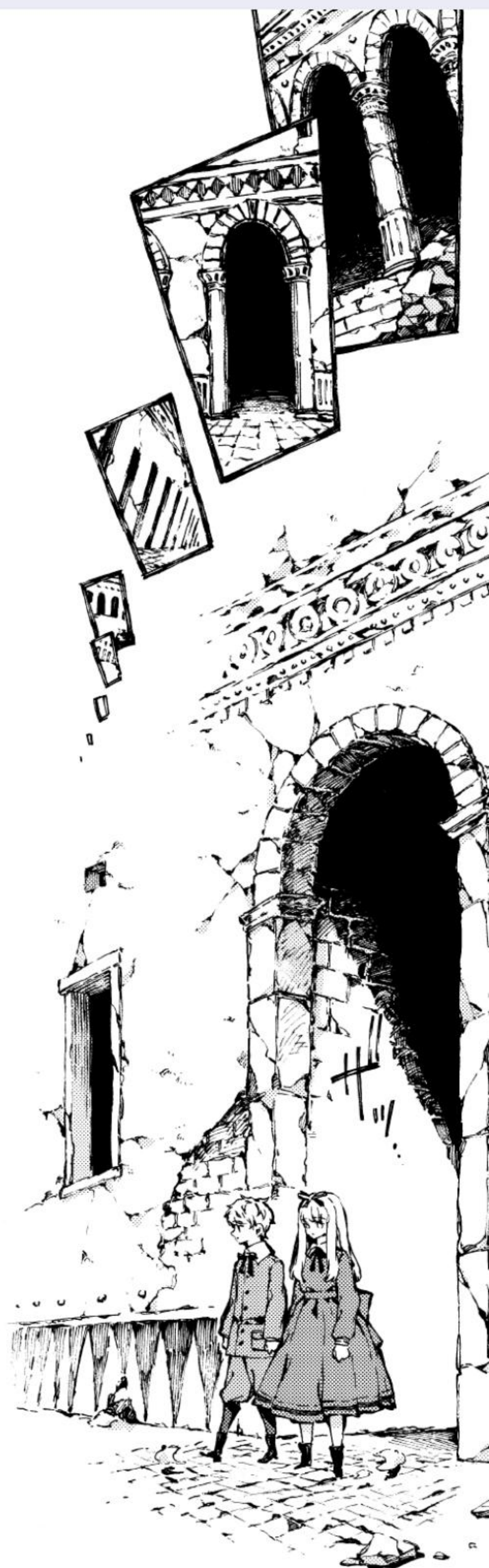
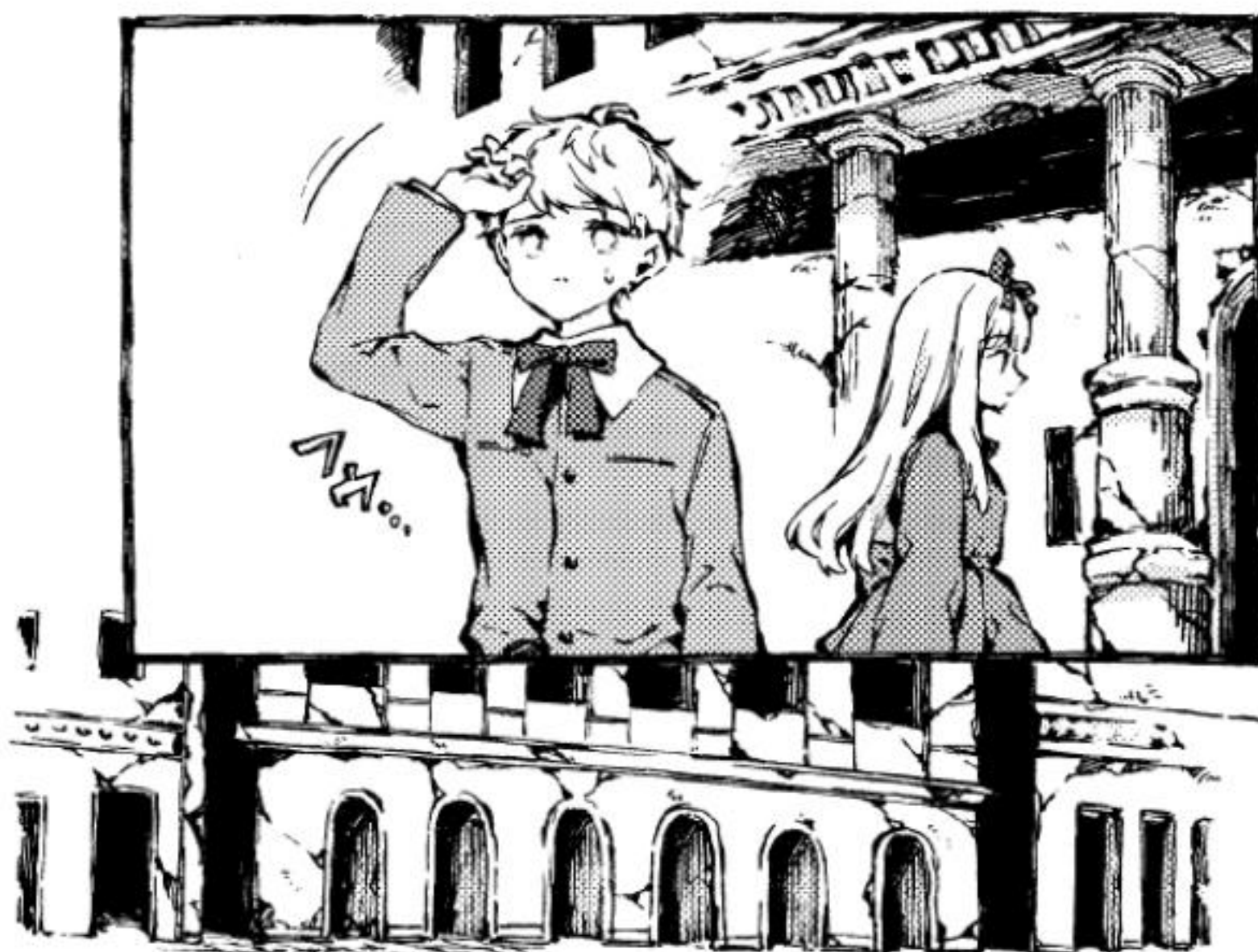
あそこ

あぶない
感じね

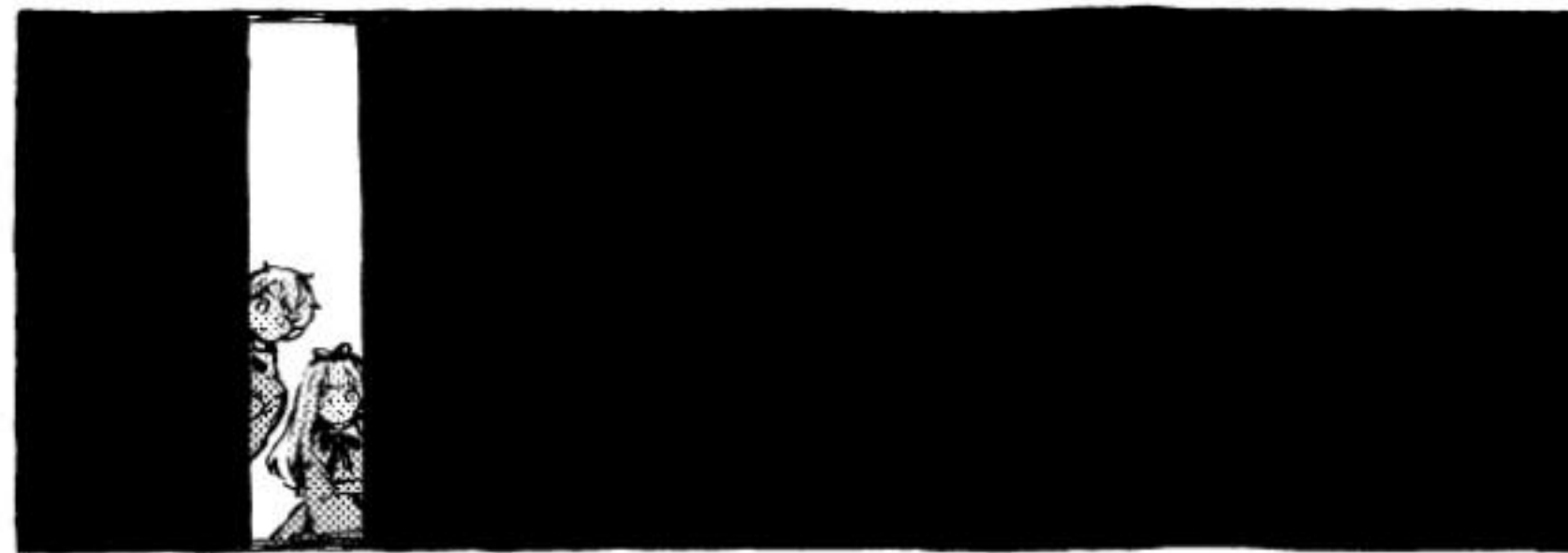
いままで
もってたんだから

もう少し
もつだろうと思うよ



















つづく